

医師の仕事内容と 心構え、 今後の課題に ついて

医学教育の現場 では、世界標準や説明責任といったルール作りが進められています。国際基準に対応した認証評価制度に向けても、動きが活発化してきています。

医学部の教員 は、医師国家試験合格率に代表される短期的目標、あるいは生涯学習や臨床能力などの長期的目標を立て、最終的には良い医師を育てるために努力しています。

良い医師の育成 は、社会に安心をもたらすことから、これら一連の流れは広く国際社会からも望まれた事業と言えます。

医学部を目指す皆さんに、今できることは何か、面接試験を乗り越えるための最新情報も交えてお話させていただきます。

イ ク オ ニ
◆講演：李 権二

小児科専門医
JICA国際緊急援助隊医療チーム
疫学・感染症班班長

1972年愛知県生まれ。

在日韓国人三世。名古屋大学

教育学部附属高校を経て岐阜大学

医学部卒業。東京大学医学部附属病院小児科にて研修し、亀田総合病院小児科に勤務。現在は白井聖仁会病院小児科にて外来を担当。

バングラデシュ国際下痢性疾患研究センター、トマス・ジェファーソン大学、フィラデルフィア子ども病院など、海外での研修を経験し、日本口唇口蓋裂協会のベトナム・ベンチエ省への医療援助や、関西医科大学のラオスへの調査隊に小児科医として派遣。2004年、スマトラ島沖地震・インド洋大津波とパキスタン大地震の被災地へJICA国際緊急援助隊医療チームとして派遣。河合塾KALSで生物学を指導したほか、医師国家試験対策の指導にも携わっている。



9月30日(火) 17:30~19:00

水戸校 7A教室

入場無料
申込不要

〒310-0015 茨城県水戸市宮町 1-2-22

☎0120-198-552

●JR常磐線、JR水戸線、JR水郡線、鹿島臨海鉄道大洗鹿島線
水戸駅北口から徒歩2分

